

第14回ミニ講演会 報告

日時：2019年9月7日（土）10時～11時30分

場所：ぶらら杉田 505号室（京急杉田駅ビル内）

参加者：講演会38名（1954高～1998卒）

講師：山野上 光氏（1954・高等部卒）

テーマ：「同窓会神奈川支部とわたくし」

内容：

9時30分から受付開始。会場には支部旗が掲げられ、“空の翼”と“A Song for Kwansei”がBGMで流れ、定時までにはほぼ満席となりました。

司会は支部幹事で「神奈川を楽しむ会」の世話役でもある田中敏恵さん(1973 文)。「楽しむ会創設時のお話を聞くのが楽しみです」の一言で始まりました。

次に高木支部長から「ミニ講演会もお蔭をもちまして今年で7年になり、今回は満を持して山野上さんにお話を伺いました。どんなお話が飛び出すのか楽しみです」と挨拶がありました。

講演は、「関西学院中学部、高等部卒の山野上です。本日は同窓会活動を通じて経験しましたことをお話いたします。」から始まりました。以下、講演の内容の大略です。

(1) 同窓会会員として活動開始

同窓会の活動は1995年に関東地区在住の26年中学部・29年高等部卒で「仁甲会」を設立したのが始まりで、今も「俺、お前」の仲が続いています。

神奈川支部には退職の翌年2001年、幹事会に体験参加したのがきっかけです。

当時、神奈川支部は財政的に厳しく、収入源は総会の会費のみで通信費等の諸経費は総会出席者の会費から捻出していた為、総会の料理は質・量ともに落とさざるを得ない状況でした。このマイナスを何とか取り返そうと、幹事は先輩・同期・親しい友人を訪れ、くじ引き用の賞品提供・寄付をお願いし、また自腹で自社商品を景品として提供し、総会を盛り上げる努力をしていました。

こうした中、2002年に同窓会本部より各支部総会出席者数に応じ補助金の支給が開始され、また、翌年からは支部会員にも1,000円の年会費負担をお願いし、特に昭和20年代卒の方々の協力で成果が上がりました。こうして、漸く支部運営費を年会費・寄付金などで賄えるようになり、余剰金（繰越金）を計上できるようになりました。一方 経費節約も徹底して、従来は往復はがきで総会案内を出していたのですが、より安価なクロネコのメール便を活用して封書に変更し、年会費・寄付のお願いや支部の活動報告を同封するようになりました。封書の挿入、宛名シールの貼り付けなどは支部幹事が集まり実施しました。また、総会出欠の返信ハガキ・切手代は戻ってこない人も多いため、送信者負担としました。

(2) KG 神奈川を楽しむ会 設立

2002年の秋、神奈川支部ゴルフコンペのスタート前に金光支部長より、会の設立運営を相談さ



れたのがきっかけでした。同席していた同窓が口々に「山野上、お前がリーダーをやれ、我々は協力するから」と言ったので、引き受けることになりました。当時は、退職早々で横浜も鎌倉の土地勘も殆どゼロで、観光案内をパソコン等で調査し、いくつか候補地を上げ、同年 12 月に会の名称を「KG 神奈川を楽しむ会」として設立し、メールアドレスを登録している方を中心に、またこれまで総会に多く参加されていた方には封書で案内を出しました。

第一回は 2003 年 1 月「鎌倉七福神巡り」で、夫婦の参加を呼び掛け、総勢 21 名で夫婦が 6 組でした。昼食場所を予め決めておらず、行き当たりバッタリで店に入った為、料理が出るのが遅く、その時、金光夫人が夫婦饅頭を皆さんに差し入れてくださったのが今も記憶に残っています。因みに金光さんご夫妻は、函南町（静岡県）より毎回、2 時間ほどかけて参加されていました。これ以降は計画(下見)する際には、昼食場所、トイレ休息等を確保するようにし、現在に至っています。

2 年目は事前にアンケートを出して皆さんの希望を聞き 出来る限りこれに沿って計画しました。また 3 年目からは、四季折々に、新春初詣・観梅、お花見、菖蒲・アジサイ、施設見学、山里散策、紅葉、ミニ忘年会、などを組み合わせて年間計画を用意しました。また家族も参加できる「地引網」、相撲部屋見学等、個人での見学・体験が出来にくいもの計画しました。

第 60 回を終えて、世話役（代表）は森原さんに引き継ぎましたが、以降も夫婦で参加しています。

（3）「学院情報」の送信

同窓生と学院の懸け橋となるような事は出来ないか？と校友課、同窓会本部などと相談し、2003 年、支部会員（年会費納入者）でメールアドレス登録者に、学院のスポーツ結果を中心に毎週の送信を開始しました。丁度、支部年会費の徴収を初めた頃であり、そのリターンの意味合いもありました。2016 年からは、佐藤事務局長が転送配信して、支部会員以外の方も含めて更に多くの同窓に届けています。

（4）支部ホームページの開設

2006 年に開設し、2014 年より所さん（現・副支部長）にバトンタッチしました。

2000 年初には大都市に設立されている支部(東京、名古屋等)は、既に HP を開設し支部活動を支部内外に発信していました。神奈川支部も HP 開設しようということになりましたが、役員の中で誰も名乗り出ず、業者に作成を依頼すれば、メンテ費を含めて多額の費用が必要なため、2005 年 9 月から上野のパソコン教室に重い（5kg）パソコンを抱え、5 か月通いました。最初は、講義を聞いたときは理解できた気持ちになっていても、いざ帰宅して自分の PC で復習すると理解できてないとか、忘れていてのことの方が記憶している方より多いことも度々でした

もう一つの問題はプロバイダーで専門業者では費用が掛かるため、同窓会本部の小野さんに相談したところ、容量が大きくないが本部のソフトを無償で使えることが判り、手続きしました。

こうして漸く 2006 年 2 月 10 日に神奈川支部 HP 開設に漕ぎ着けました。その後、容量も増え不便なく使用できています。

☆ここで佐藤事務局長からサプライズで所副支部長（本日欠席）から、山野上さんへのご尽力と感謝の思いを込めたメッセージの紹介がありました（全員から拍手）。

（5）おわりに

奥様（由美子さん 1962 文）とは、「共に関西学院の同窓生であり 同窓会活動に何の気兼ねもなく参加・行動することが出来ました。楽しむ会・ホームページについては、協力と云うよりは共同で動いたくれたことに感謝している」との言葉をもって終わりとなりました。

☆いつもはここで懇親会場へ移動しますが、今回の懇親会場では校歌斉唱ができないため、講演会場で参加者全員「空の翼」を斉唱して閉会となりました。（エールはいつも通り佐藤事務局長）



懇親会（ランチ）：12 時～14 時 00 分

“海彦”杉田店（徒歩 5 分）参加者 33 名

司会は井村正和さん（1977 法）。乾杯の発声は楽しむ会の世話役代表を山野上さんから引き継いだ森原績さん（1963 経）。ボリュームたっぷりの海鮮料理を堪能し、恒例の出席者全員スピーチも和気あいあいの内に無事終え、お開きとなりました。



☆参加者は、講師との学生時代や同窓会活動での永い付き合いの方が多かったですが、若い世代で「学院情報を配信してくれている山野上さんとは一体どんな人だろう」と興味をもって参加した方もいたようです。また、「山野上さんのミニ講演会」だということで、千葉から参加の方もいました。

【事務局・記】

